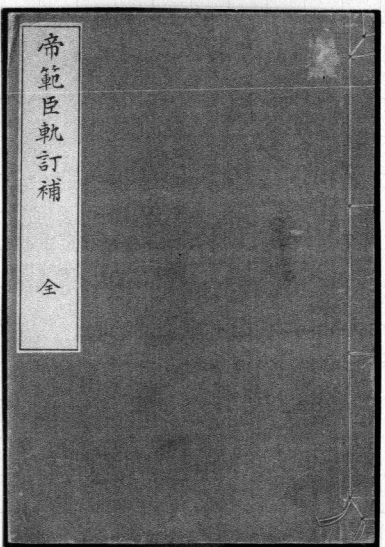


細川潤次郎 ほそがは じゆんじろう 教育家、法制學者、文藝博士。大正五年一月一日上佐國生れ、大正十二年七月二十日歿（八三歳一八九三）。講元習、幼名熊太郎、通稱潤次郎の他、細川元、細川潤、細川潤二郎とも署す。號十洲、十洲居士、吾園主人、吾園居士、梧園、潤々叟等。長崎で蘭學、兵學を學び、藩政改革に關與。維新後アメリカ留學、歸朝後文部省、左院、正院、元老院の要職を歴任。新聞紙條例、出版條例を起草。貴族院副議長、樞密顧問官となし、明治二十九年「吾園類苑」編纂總裁、また女子高等師範學校校長、學習院院長に得べき務めた。帝國學士院會員。

著書に『採訪餘録』全二冊（明治十七年九月一日版權免許、自版）、『考古台日本』（二輪義方校、明治二十二年四月二十七日吾園蔵版）、『歲計豫算論』（明治二十四年二月二十一日自刊、求林堂・丸善商店書店）、『山内一豐夫人若宮氏傳』（明治二十五年八月二十日吾園蔵版）、『祝祭台講話』（宮地敷夫校正、明治二十五年十一月二十六日女子高等師範學校）、『はなしくさ』全二冊（輯、明治二十年二月一日吾園蔵版）、『明治年中行事』（明治二十七年八月一日西川忠亮刊）、『帝範臣軌訂補』（大正四年七月十五日例言、無刊記）、『論語講義』（南摩綱紀合著・行道學會事務所編、大正八年一月五日行道學會藏版、吉川弘文館）等。



帝範臣軌訂補

全